

1. 広東省

1. 袁宝成・副省長が在広州イラン総領事と会談

●25日午後、上記会談で袁宝成・副省長は次のように述べた。広東省はインフラ建設、貿易、石油、天然ガス等の分野において、イランと長期的に広く深く協力してきており、将来的には港湾の相互連結、より多くの直航便就航等の分野でも協力していくことを希望する（10月26日付『南方日報』）。

2. 2016広東公共外交ウィーク「科学技術イノベーションと企業発展」フォーラムの開催

●25日、広東パブリック・ディプロマシー協会、省対外友好協会、省企業連合会共催の上記フォーラムが開催され、王珣章・省政協副主席が出席し講話を行なった。同日晩、上記フォーラムの関連イベントが開催され、温蘭子・省政協副主席等が出席（10月26日付『南方日報』）。

3. 工業・情報化部と広東省が戦略的提携

●27日晩、北京市で工業・情報化部と広東省政府が「十三・五計画」期間に工業・情報化の発展を推進するための戦略的協力協定に署名した。胡春華・省党書記、苗圩・工業・情報化部長、朱小丹・省長等が署名式に出席（10月28日付『南方日報』）。

4. 広東省と中国電子科学技術集団が戦略的提携

●27日晩、北京市で広東省政府と中国電子科学技術集団が戦略的協力協定に署名した。胡春華・省党書記、朱小丹・省長、熊群力・中国電子科学技術集団董事長、樊友山・同総経理が署名式に出席（10月28日付『南方日報』）。

5. 2016広東21世紀海のシルクロード国際博覧会が東莞市で開幕

●27日、黄龍雲・省人代常務委員会主任が上記博覧会の開幕を宣言し、慎海雄・省党宣伝部長、ミクロネシア副大統領が開幕式に出席。何忠友・副省長が開幕の挨拶（10月28日付『南方日報』）。

●29日、上記博覧会の成果が発表され、28日午後2時時点で来場バイヤー数はのべ2.5万人に達し、記録を更新した。各種プロジェクトの契約数は700件で、契約総額は2,068億元（前年比2.5%増）だった（内訳は、広東省への投資が187件で541億元、「海外投資（走出去）」が63件で335億元、貿易が450件で1,192億元）（10月30日付『南方日報』）。

6. 省党常務委員会議の開催

●29日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を伝達・学習し、広東省がそれを貫徹・実行するための意見について検討した。会議では次のように強調された。終始、思想・政治・行動において、習近平同志を核心とする党中央との高度な一致を保ち、「新たな情勢下における党内の政治生活に関する若干の準則」と「中国共産党党内監督条例」を真剣に貫徹・実行し、第18期六中全会の精神を学習・貫徹すべく、同省の改革・発展に関する各プロジェクトに全力で取り組み、「3つの定位、2つの率先」という目標を達成するために努力し奮闘しなければならない（10月30日付『南方日報』）。

●29日午後、胡春華・省党書記が主宰し、全省で第18期六中全会の精神を伝達・学習・貫徹するための大会が開催された（10月30日付『南方日報』）。

7. 省政府党組織会議の開催

●30日午前、朱小丹・省長主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を伝達・学習し、政治意識、大局意識、核心意識、看齐意識を強化するよう強調（10月31日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 第14期市人代常務委員会第57回会議の開催

●26日、陳建華・市人代常務委員会主任主宰の上記会議で、歐陽衛民・常務副市長が謝曉丹・副市長兼公安局長の辞職について説明し（謝副市長はすでに広州市政法委員会党書記に就任し、代わって楊江華・広東省司法庁長が副市長兼公安局長に就任）、「非原動機付車両・オートバイ管理規定」等について審議し採択（10月27日付『広州日報』）。

2. 中国-ロシア・ネットメディアフォーラムの開催

●28日、任学鋒・市党書記が上記フォーラムならびに中国-ロシア・ニューメディア青年リーダーサミット（29日開催）に出席するため広州市を訪れた一部来賓と懇談。ロシア連邦通信・マスメディア省副大臣、南部地区集団総裁、ロシアSPBテレビ社長、在中国ロシア大使館人文協力処処長、中国日報網副編集長も同席（10月29日付『広州日報』）。

3. 2016広東21世紀海のシルクロード国際博覧会シンポジウムの開催

●28日午後、任学鋒・市党書記主宰の上記シンポジウム（生産能力における協力・イノベーションによる発展に関するハイレベル・フォーラム）が広州市で開催され、胡春華・省党書記の委託を受けた朱小丹・省長、陳洲・中国貿易促進委員会副会長が出席し挨拶。林毅夫・全国工商連合会専任副主席、何忠友・副省長も関連イベントに出席（10月29日付『広州日報』）。

4. 市党常務委員会拡大会議の開催

●30日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を真剣に学習し、深く貫徹した（10月31日付『広州日報』）。

5. 市政府常務会議の開催

●30日午後、温国輝市長主宰の上記会議で、第18期六中全会の精神を学習・貫徹し、年末までの重点業務について検討・手配（10月31日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 第5回WHO医薬品品質管理施設事前審査にかかる地域シンポジウムの開催

●25日、43か国42のラボから56人の国際医薬品品質管理の専門家が、中国国内26のラボの53人の専門家と共に深圳市に集まり、WHO（世界保健機関）主宰の上記シンポジウムに出席。孫咸沢・国家食品・薬品監督管理総局副局長、陳彪・副市長も出席。本シンポジウムは、WHOが中国で開催した初の国際医薬品品質管理関連会議である。同日昼、許勤・市長が孫咸沢・副局長一行と会談（10月26日付『深圳特区報』）。

2. 深圳企業が米シアトル市へ海外視察

●深圳特区報がシアトルから伝えるところによれば、馬蔚華・深圳市国際交流・協力基金会名誉会長率いる「深圳企業国際化実践キャンプ」が初めて海外（米国）で行われた。同キャンプは8日間のうちに多様なプログラムが実施され（ワシントン大学フォスター・ビジネススクールでの聴講、米国・中国双方の企業家リーダーによる円卓対話、マイクロソフト、ボーイング、スターバックス、グーグル、シスコ等の見学等）、現場視察と精緻なビジネスマッチングを通じて、深圳企業がその国際化戦略に向けて最良の道を探索することを目的とする（10月26日付『深圳特区報』）。

3. 許勤・市長が袁国強・香港特別行政区司法長官一行と会談

●26日昼、上記会談で許勤・市長は馬興瑞・市党書記に代わって一行に歓迎の意を表し、次のように述べた。深圳市と香港は法治関連分野等で一層協力を強化し、共に手を携えてより競争力を備えた法治環境を構築し、両地域の発展を促進させ、民生・福祉を増進させ、「一帯一路」国家戦略に奉仕するために、更に積極的な役割を發揮していきたい（10月27日付『深圳特区報』）。

4. 市政府常務會議の開催

●27日午後、許勤市長主宰の上記会議で、義務教育経費の保障メカニズムを整備するための実施案等について審議し採択（10月28日付『深圳特区報』）。

5. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が在香港総領事訪問団一行と会談

●28日昼、馬興瑞・市党書記、許勤・市長が在香港南アフリカ総領事率いる上記一行と会談し、次のように述べた。深圳市は中央・広東省の手配・要求に基づき、更に力を入れて「一帯一路」戦略を実行することで、沿線諸国との貿易・投資等の分野における協力を強化し、香港との協力水準・段階を全面的に高め、発展のチャンス・成果を一層共有していく（10月29日付『深圳特区報』）。

6. 地下鉄7号線、9号線が試運転開始

●28日午前、深圳市の地下鉄7号線、9号線が試運転を開始し、馬興瑞・市党書記、許勤・市長等が試乗（10月29日付『深圳特区報』）。